記者発表

令和４年９月１日
国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所

前線に伴う出水における白川ダム・長井ダム・寒河江ダムの防災操作（洪水調節）効果について

～　長井ダムは最大流入量・８月降水量　歴代第１位を記録、白川ダムは不明者捜索のため特別防災操作を実施　～

最上川ダム統合管理事務所管内では、前線による降雨に伴う出水により、令和４年８月３日から４日にかけて、所管する白川ダム、長井ダム、寒河江ダムにおいて防災操作（洪水調節）※1を実施しました。

・長井ダムでは、管理開始（平成23年）以降、**歴代第１位**※2**の流入量**及び**８月降水量**を記録しました。今回の出水のおよそ24時間で、８月ひと月の60%にあたる**４０５㎜の雨**が、ダム流域内に降りました。
・白川ダムでは、下流河川での不明者捜索のため、**特別防災操作（通常の防災操作で決められたダムから流す水の量より減少させる操作）**を実施しました。
３日19時40分より、ダムから流す水の量を約１７０m3/sから約１００m3/sへと減少（本来はダムから最大２２３m3/sまで流す）
・寒河江ダムでは、降り続いた降雨により、流入量のピークが４つ発生する４山洪水となりました。

白川ダムへの最大流入量は約４７３m3/sで、ダムに貯め込んだ水の総量は１，０７９万m3に達しました（東京ドームを容器にすると約８．７杯分）。
長井ダムへの最大流入量は約７５７m3/sで、ダムに貯め込んだ水の総量は７８４万m3に達しました（東京ドームを容器にすると約６．３杯分）。
寒河江ダムへの最大流入量は約３６９m3/sで、ダムに貯め込んだ水の総量は６７６万m3に達しました（東京ドームを容器にすると約５．５杯分）。

この防災操作（洪水調節）により、**白川ダムでは下流の置賜白川の水位（椿地点）を約０．４９ｍ、長井ダムでは下流の置賜野川の水位（谷地橋地点）を約１．７２ｍ、寒河江ダムでは下流の寒河江川の水位（西根地点）を約０．６６ｍ、それぞれ低減させる効果**があったものと推測されます。
また、**最上川の長井市小出地点で約０．３ｍ、中山町長崎地点で約０．５ｍ、大石田町大石田地点で約０．５ｍ**（大久保遊水地含む）、それぞれ**水位を低減させる効果**があったものと推測されます。

※1防災操作（洪水調節）
ダムに流れ込む水を一時貯め込んで下流河川の増水を低減させる操作のこと

※2歴代　最大流入量（長井ダム）

1位	**令和４年８月３日洪水**	**７５７m3/s（今回）**
2位	平成26年７月10日洪水	４０６m3/s
3位	平成25年７月22日洪水	３４２m3/s

８月降雨量（流域平均）

令和４年	**６７８．５㎜**
平成30年	５３７．４㎜
令和３年	４１６．５㎜

【発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、山形県建設業界専門紙】

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関１５８
副所長　齋藤（サイトウ）　克浩（カツヒロ）（内線204）
調査課長　岩瀬（イワセ）　秀一（シュウイチ）（内線351）
電話　０２３７－７５－２３１１（代表）

出水速報　最上川水系 白川ダムの効果（ 令和4年8月3日 前線に伴う洪水 ）

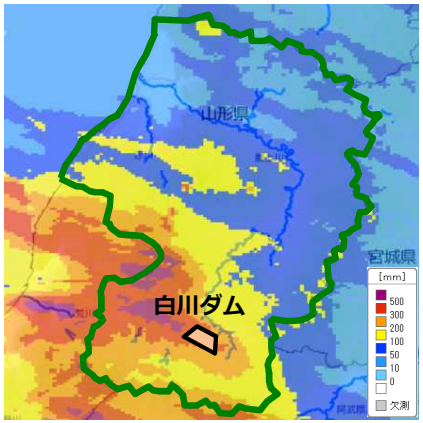
○前線に伴う降雨により、白川ダム上流域において8月3日6時から8月4日13時までに**流域平均累加雨量は208mmに達し**、8月3日23時20分に**最大流入量が毎秒473m³**となり、6月27日に続いて**管理開始（S56）以降第2位**を記録しました。

○不明者捜索隊からの要請により、8月3日19時40分から下流河川の水位を低減するため、**特別防災操作**を実施しました。

○白川ダムでは**約1079万m³（※東京ドームで約8.7杯分）の水を貯め込み、ダム下流置賜白川の飯豊町椿観測所地点で約0.49mの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

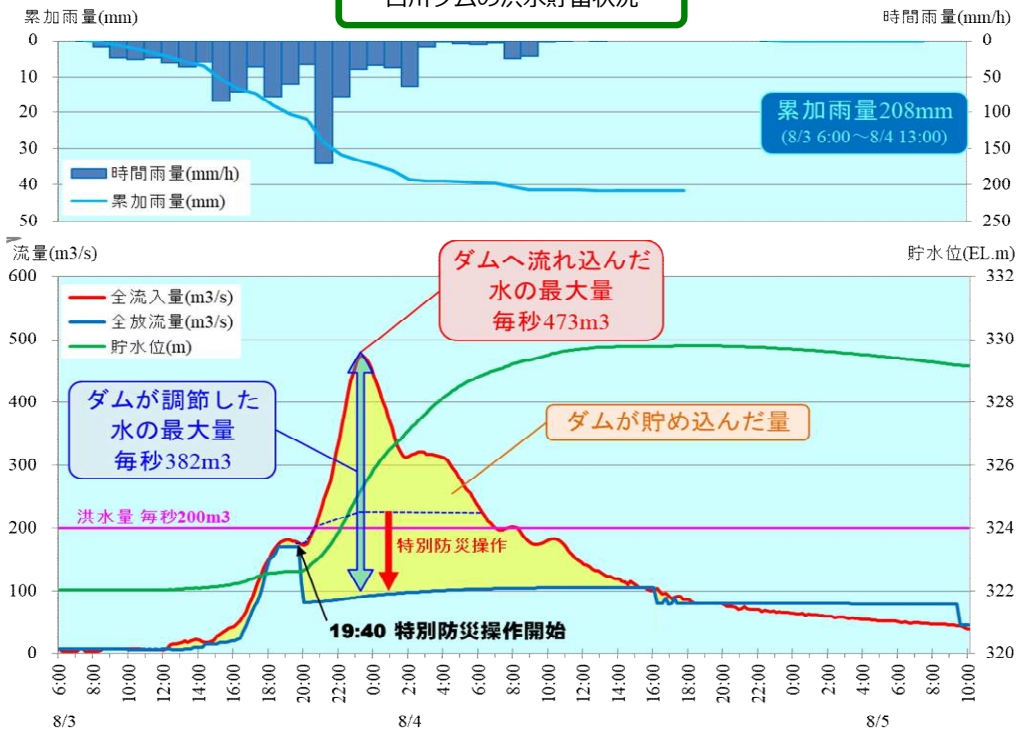
レーダー累加雨量
（8月3日6:00 ～ 8月4日9:00）



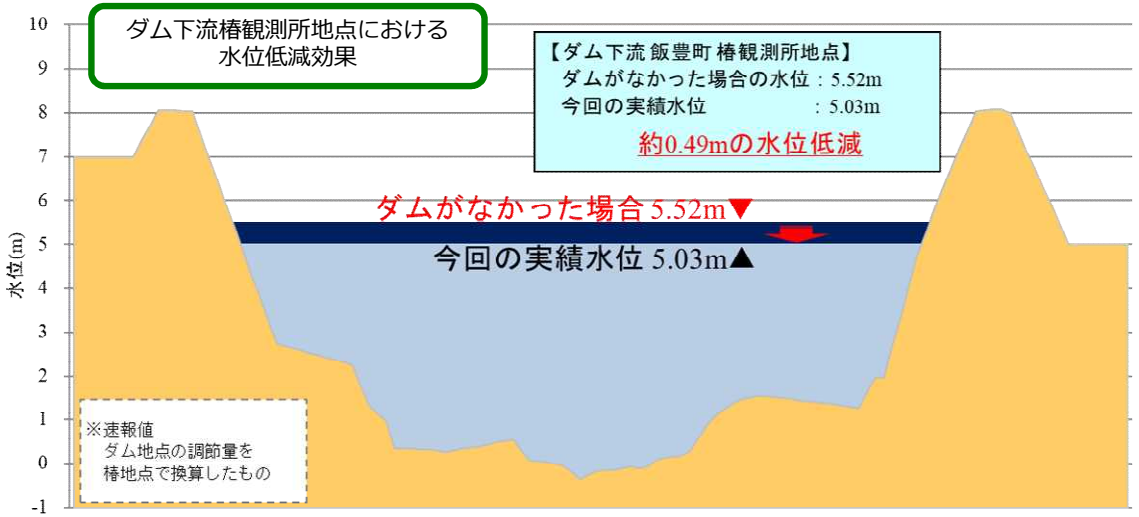
位置図



白川ダムの洪水貯留状況

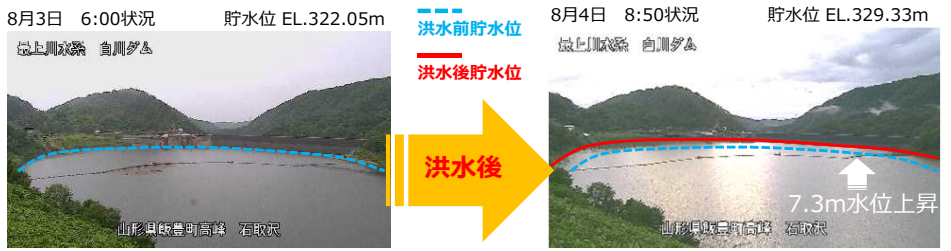


ダム下流椿観測所地点における水位低減効果



※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性もあります。

白川ダム貯水状況



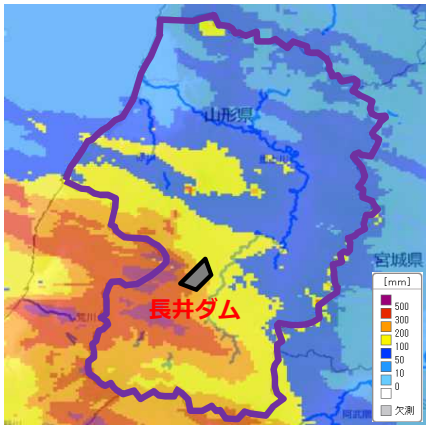
出水速報　最上川水系　長井ダムの効果（ 令和4年8月3日 前線に伴う洪水 ）

○前線に伴う降雨により、長井ダム上流域において8月3日6時から8月4日8時までに**流域平均累加雨量が405mmに達し、8月3日20時20分に最大流入量が毎秒757m³となり、管理開始（H23）以降第1位**を記録しました。

○長井ダムでは**約784万m³（※東京ドームで約6.3杯分）の水を貯め込み、ダム下流置賜野川の長井市谷地橋地点で約1.72mの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

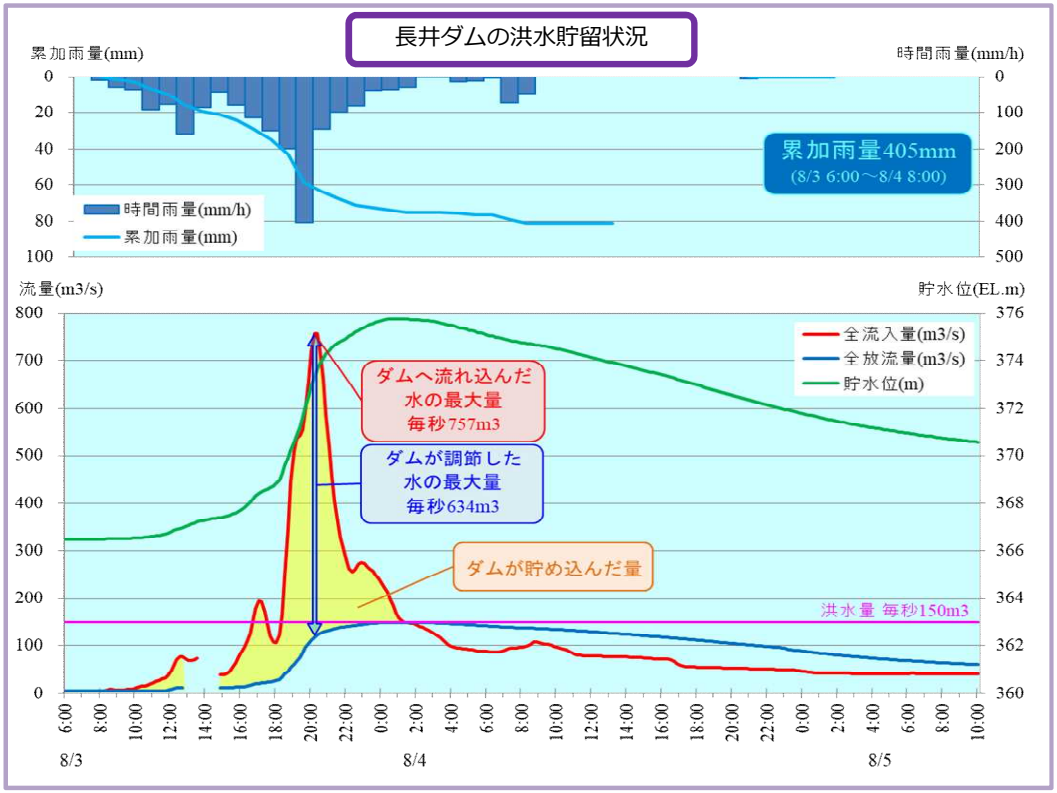
レーダー累加雨量
（8月3日6:00 ～ 8月4日9:00）



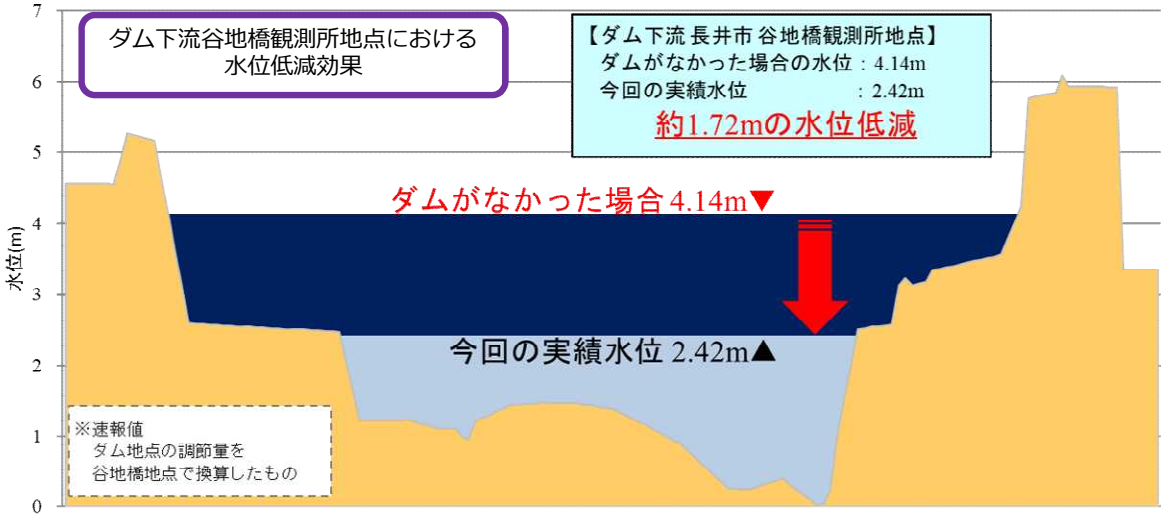
位置図



長井ダムの洪水貯留状況

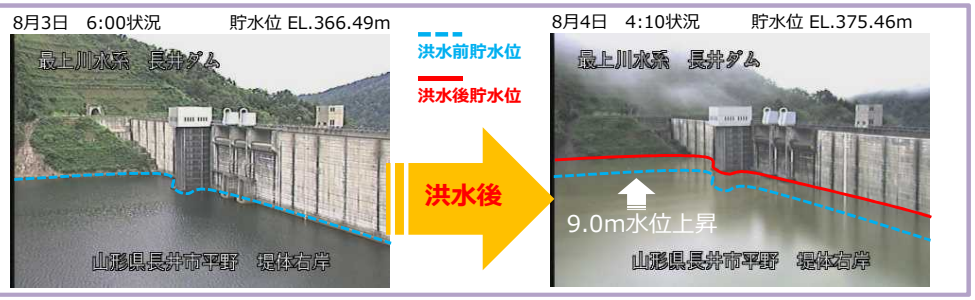


ダム下流谷地橋観測所地点における水位低減効果



※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性もあります。

長井ダム貯水状況



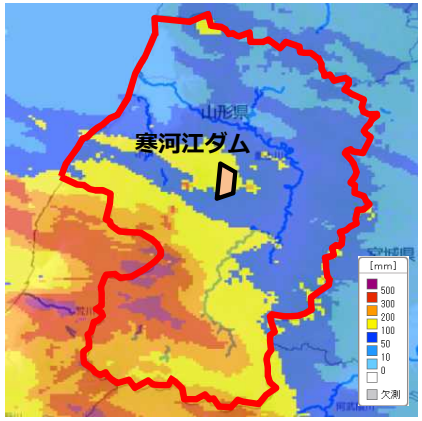
出水速報　最上川水系 寒河江ダムの効果（ 令和4年8月3日 前線に伴う洪水 ）

○前線に伴う降雨により、寒河江ダム上流域において8月3日6時から8月4日10時までに**流域平均累加雨量が148mmに達し**、8月3日13時00分に**ピーク流入量毎秒213m³**を記録した後減少し、その後16時00分に**ピーク流入量毎秒261m³**に、19時00分には**最大流入量毎秒369m³**に、8月4日3時00分には**ピーク流入量毎秒231m³**に達する、4山洪水となりました。

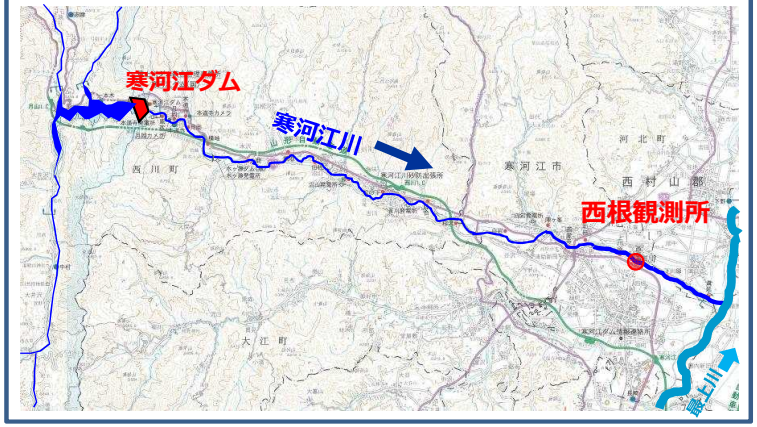
○寒河江ダムは**約676万m³（※東京ドームで約5.5杯分）の水を貯め込み、ダム下流寒河江川の寒河江市西根観測所地点で、約0.66mの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

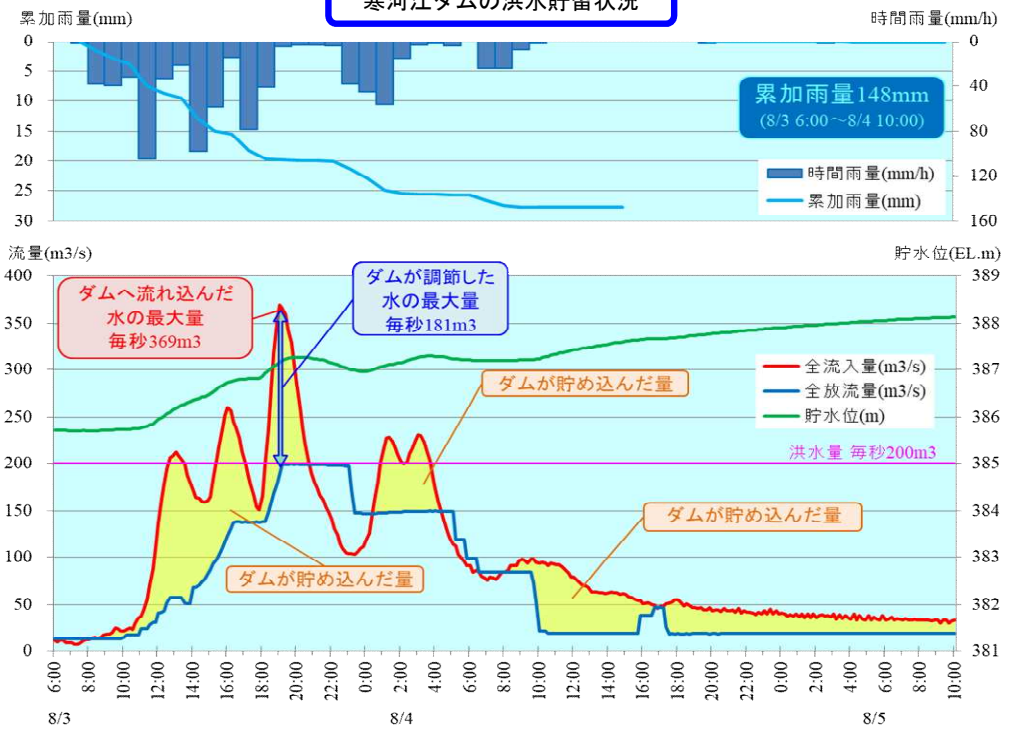
レーダー累加雨量
（8月3日6:00 ～ 8月4日9:00）



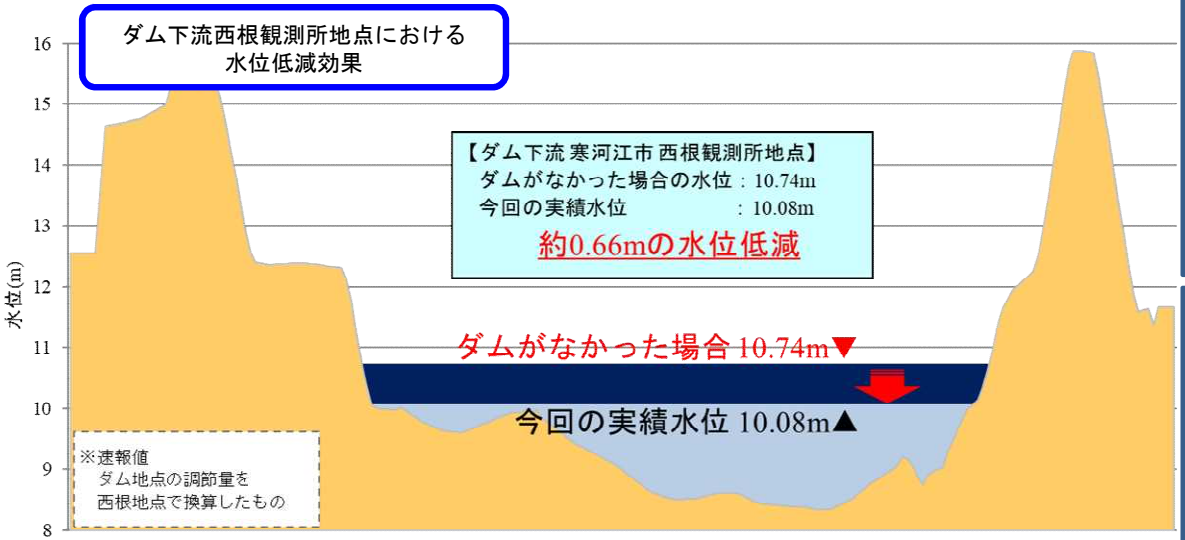
位置図



寒河江ダムの洪水貯留状況



ダム下流西根観測所地点における水位低減効果



※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性もあります。

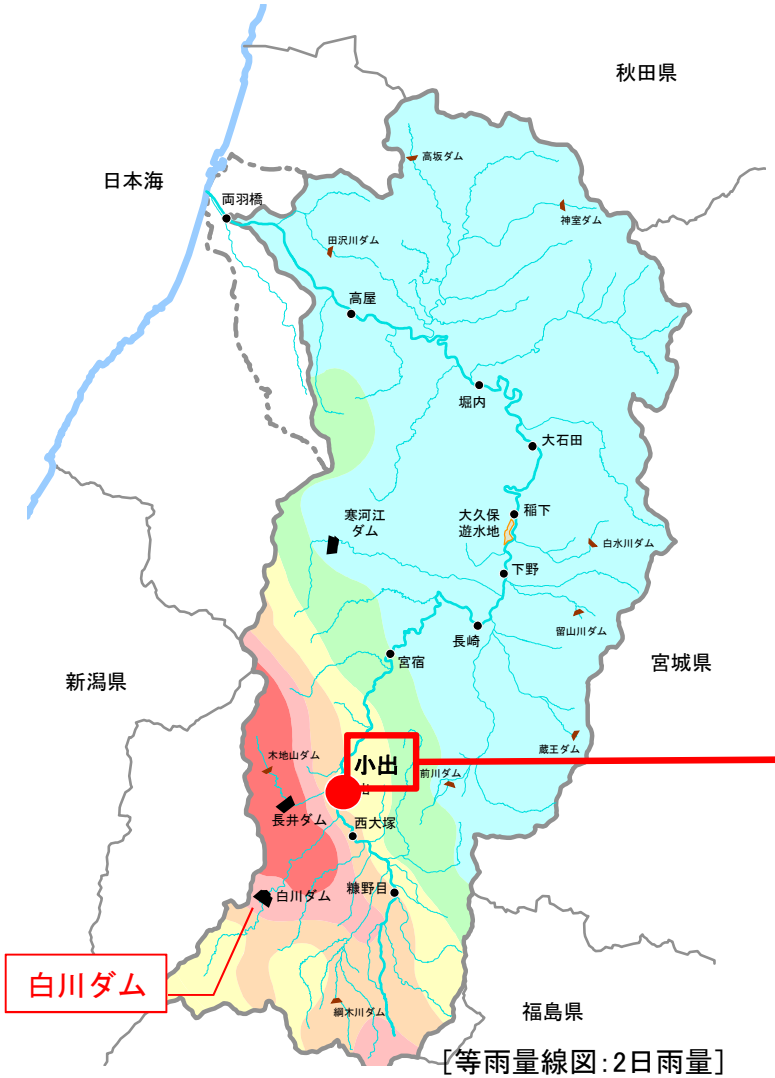
寒河江ダム貯水状況



白川ダムによる洪水調節効果

速報値

- 今回の洪水では、白川ダムにおいて下流河川の水位を低下させるための特別防災操作を実施し、最大で毎秒382m³の水を貯め込みました。
- 今回の洪水では、白川ダムの特別防災操作実施により、最上川の長井市小出観測所において約0.3mの水位低下が図られたものと推測されます。

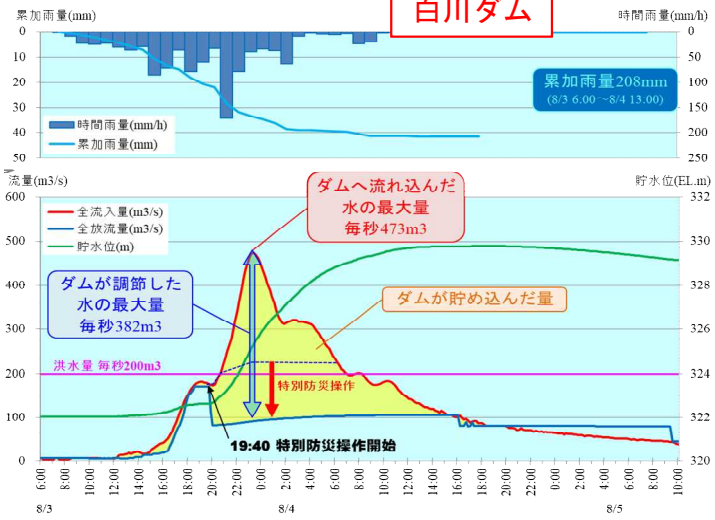


［等雨量線図:2日雨量］

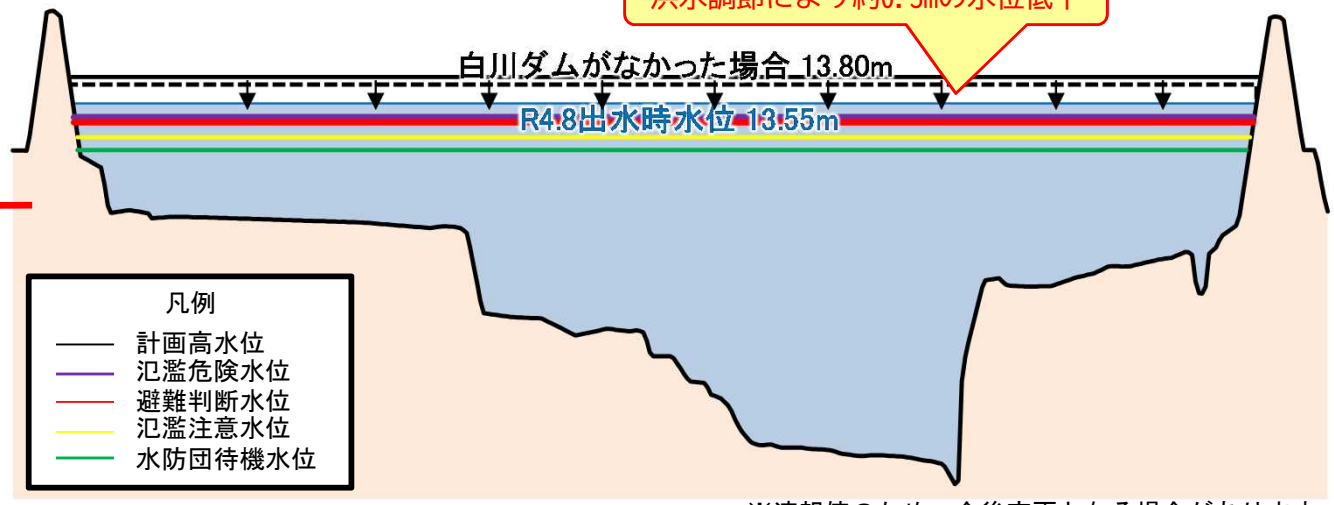


小出観測所（河口から178.7km）

白川ダム



洪水調節により約0.3mの水位低下



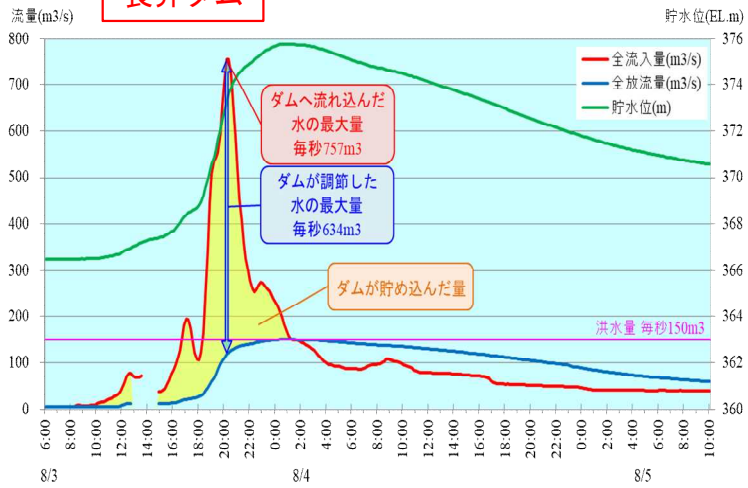
※速報値のため、今後変更となる場合があります。

白川ダム・長井ダムによる洪水調節効果

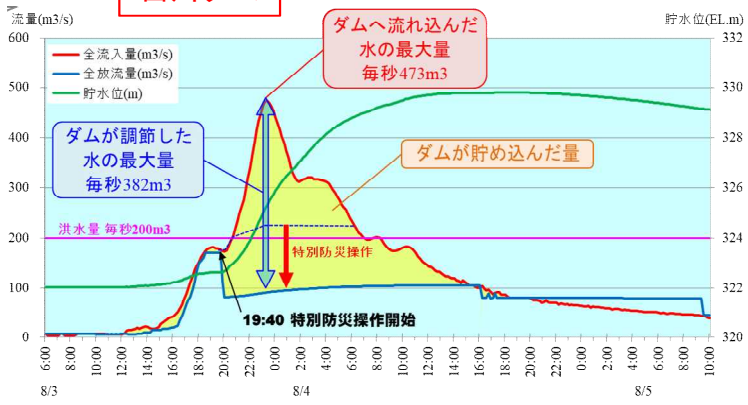
速報値

- 今回の洪水では、最上川上流ダム群の白川ダムでは、特別防災操作により最大で毎秒382m³の水を貯め込み、長井ダムでは、ダム管理開始以降の最大流入量を、防災操作により最大で毎秒634m³の水を貯め込みました。
- ダムが無かった場合、中山町長崎観測所の水位が計画高水位を超過する恐れがありましたが、２つのダムの防災操作を実施したことにより約0.5mの水位低下が図られたものと推測されます。

長井ダム



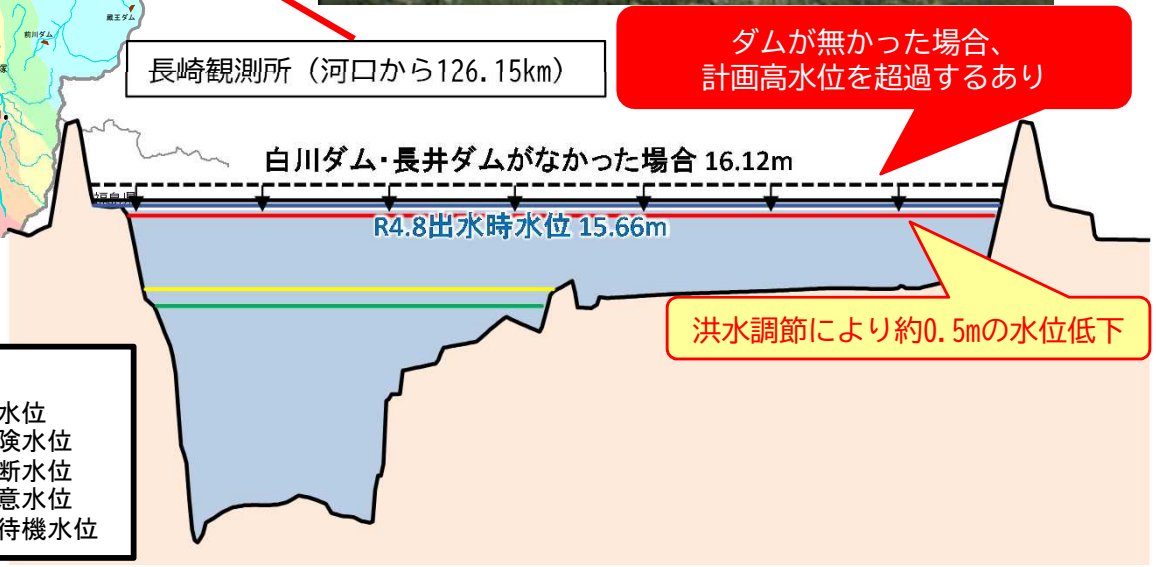
白川ダム





［等雨量線図：2日雨量］



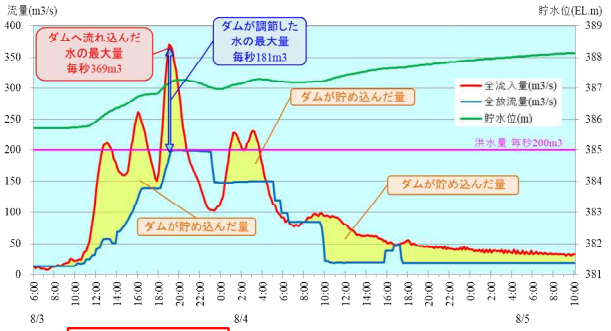


※速報値のため、今後変更となる場合があります。

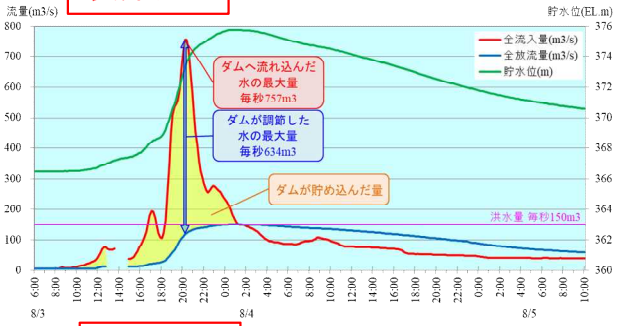
寒河江ダム・白川ダム・長井ダムによる洪水調節効果　速報値

- 今回の洪水では、これまでに整備した３ダム（寒河江・白川・長井）の防災操作（洪水調節）、および大久保遊水地により洪水調整を実施しました。
- 最上川水系３ダム（寒河江ダム、白川ダム、長井ダム）による防災操作、および大久保遊水地の貯留によって、大石田町大石田観測所において約0.5mの水位低下が図られたものと推定されます。

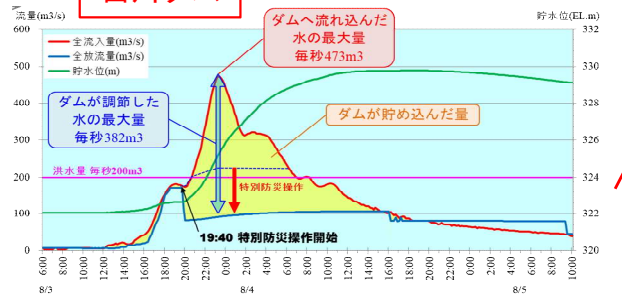
寒河江ダム

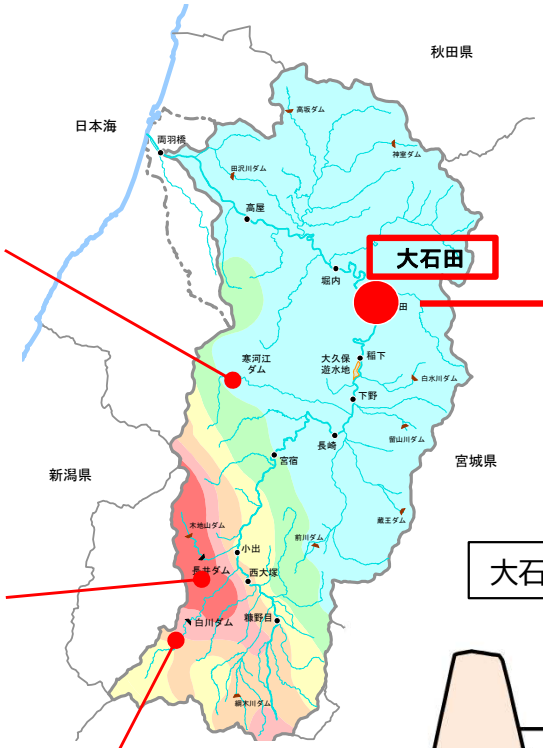


長井ダム



白川ダム

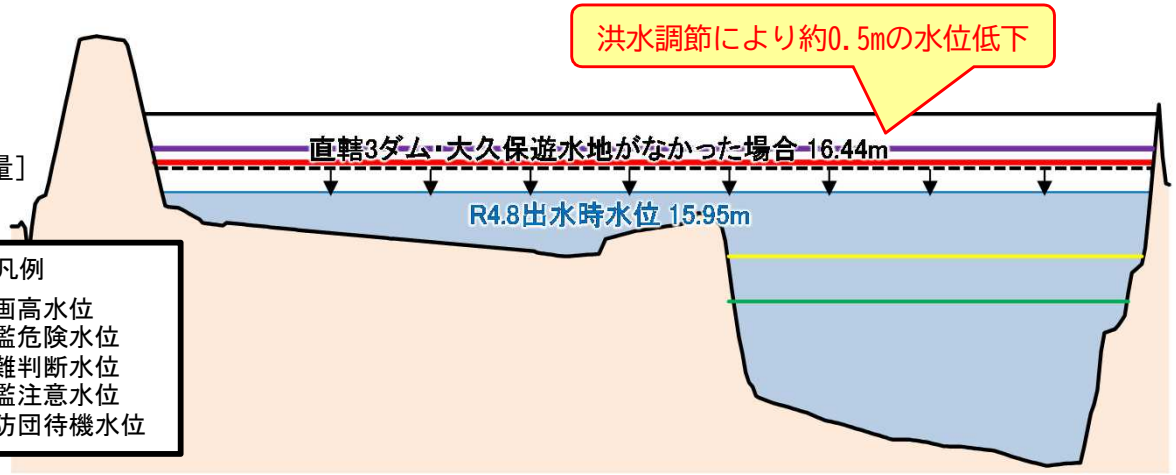




［等雨量線図:2日雨量］



大石田観測所（河口から86.2km）



※速報値のため、今後変更となる場合があります。